花の百名山　森吉山山開き

森吉山は、市中央南部に位置する標高1,454mの独立峰。山頂からの眺望は四方に開け、天候に恵まれれば遠くは八甲田の峰々や岩手山など隣県の名山と日本海に突き出る男鹿半島の大パノラマを望むことができます。山頂部一帯には、６月初旬から９月下旬にかけて可憐な花が咲き誇り「花の百名山」として多くの方に親しまれています。

登山シーズンの幕開けを告げる森吉山の山開きが、５月３日に行われ、市や山岳会関係者、県内外の登山愛好者などが参加し、今年一年の安全を祈願するとともに春山登山を満喫しました。

青空の下、見渡す限りの絶景を楽しむ

この日は絶好の天気に恵まれ、岩木山、男鹿半島、鳥海山、岩手山など四方の景色がくっきりと見える中、山開きを心待ちにしていた登山愛好者が午前８時30分に旧森吉スキー場駐車場を出発。参加者は山から見える景色を楽しみながら、多くの残雪が残る山路を一歩ずつ踏みしめ、一ノ腰（標高１２６５ｍ）を経て森吉神社までの約４キロを思い思いのペースで登りました。

午前11時から森吉神社で行われた神事では、お神酒などを供えて礼拝し、今年一年の無事故と安全を祈願しました。神事のあと、参加者たちは雄大な景色を見ながら昼食をとり交流を深めたほか、山頂を目指したり、山スキーをしながら、思う存分春山を楽しんでいました。

高山植物が咲き誇る「花の百名山」

森吉山は「花の百名山」に数えられ、多くの高山植物が咲き誇ります。６月初旬から中旬にはチングルマやヒナザクラなどが咲き始め、次第に登山道沿いのお花畑がにぎやかになり、シーズンの最盛期を迎えます。

☆ゴンドラの運行期間等については裏表紙をご覧ください。

絶好の天気の下、登山を楽しむ参加者

冠岩から見下ろす景色

森吉神社での安全祈願

一ノ腰を越え森吉神社を目指す参加者

頂上に近づくにつれ雪深くなる森吉山

石森から眺める頂上

花の百名山に咲き誇る高山植物

６月８日（土）からゴンドラの運行が始まります。これから見頃を迎える高山植物を見に行こう！

クモマニガナ

チングルマ

ハクサンチドリ

イワカガミ

コバイケイソウ

ベニバナイチゴ

ニッコウキスゲ

アカモノ